

「成長」と「後退」

もう、一年経ってしまった。過ぎてしまえば、過去は、ほんの瞬間になってしまいが、この一年、自分を振り返ってみてどうだった？ 俳句査定じゃないけど、成長？ 後退？ それとも、現状維持？ この時期に、必ず、客観的に自分を評価してみたい。

君たちを一年間見てきて、今の僕の感想は、一言で言くと『個々の差が大きくなってきた』ということや。それは、一人一人の学力の差、勉強への姿勢と言ってもいいかな、顔つきの差、精神面の表れ？、あるいはクラスの雰囲気の違いなどいろいろある。

はつきり言っていて心配している。毎日の生活は、いいことも悪いこともあり、日々、人は変化しているが、間違いないと言えるのは、

「成長」には、必ず相当な努力が必要で、「後退」には努力がまったくない必要はない、そして、努力とは、しんどいものである、ということや。

ゆえに、「成長」するのは簡単ではなく、根気や忍耐力が要るし、時間もかかる。が、「後退」は何もせず、なんとなく、ぼーっと過ごしてたら、あつという間にできてしまう。楽だし、時間もかからない。

クラブでも同じことがあるやろ？ 技術力、体力を向上させるのは、時間がかかるし、しんどいが、ちょっとサボったり、休んだりしたら、あつという間に元へ戻る。そこで、サボったり、休んだりしないために必要なのは、「精神力」、すなわち心の強さや、だから「心・技・体」という言葉があるし、なぜ「心」を一番先に言うか、という理由や。

今の時代、根性論は流



大阪府立 泉陽高等学校
83期担任団
2019年 平成31年
3月20日 (水曜日)
第6号

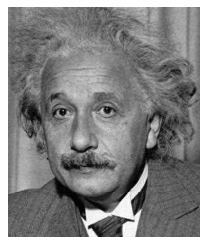


行かないし、合理性は必要だと思ふ。勉強でも、スポーツでも、芸術でも、スパルタで、しご倒すのは、時代遅れだと思ふ。が、合理性を追求するだけで、しんどい努力をしないものには、「真の成長」はない、と僕は強く思っている。

どの世界でも、一流になつていく人は、どこかで必ず血の滲むような努力をしている。理屈だけじゃない努力をしているんや！ 一流の人はそんなことは、ひけらかしたりしないけどな。

だから君たちには、文句や不満を言う前に純粋に「努力できる人」になつてもらいたいんや。結果を気にする前に、全力投球することを体で覚えてほしいんや。今はそういう時期。

幸せのために！！ (全力投球 Full pitch to happiness)



成長 一組担任

シマウマは、生まれて1-2時間すると、時速数十キロで走り出すぞうだ。弱い動物だから、生まれたらすぐ逃げられるように、母親のお腹の中で育てられているのだから。虎やライオンの妊娠期間は百日程度らしいが、生まれた時は目も見えず、耳も聞こえない。親が猛獣だから、ゆつくり育てても心配ないようだ。それでも生後3-4年も経つと、自分で餌を捕るようになり立派に自立してゆく。



人間の場合はどうだろう。生まれるまでに二百八十日もかかり、生後1年は目も離せない。さらに成人になるまでに十数年もかかり、かつて成人と認められる元服は十三歳であつたが、現在は二十歳である。成長に要する時間がどんどん伸びている。2022年に成人は十八歳になることが決まった。百四十年以上続いた定義が変わることになる。君たちも三年後、成人を迎える。この一年の成長はどうだろう？ 朝読の時間に遅れることなく、大きな声で挨拶が出来、常に周りのことを考えながら行動する。こんな簡単なことが出来なかつた人が、たくさんいるのでは？

この一年の行いを見つめ直し、成人になる準備を進めよう！ (柔道く半直線く々)



写真は、今月初めにJAXA宇宙航空研究開発機構が公開した動画の一コマで、見た人も多いのではないかと思います。「はやぶさ2」が小惑星リュウグウにタッチダウンした直後、金属弾によって打ち砕かれた岩石の破片が舞い上がっています。この試料採集を終えた後、「はやぶさ2」(下段イラスト参照)の上昇と共に機影が小さくなっていく様子は、光の到達でさえ20分も要する3億km以上の彼方の感動の光景でした。

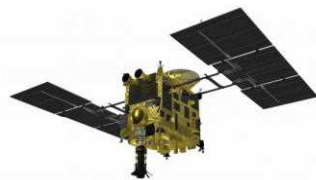


JAXA / 宇宙航空研究開発機構

あきらめない心 二組担任

しかし、この偉業も初号機はやぶさ1(2003-10)での経験をもとにした改良の上になり立っているのです。や通信の途絶など、致命的困難が幾度となく襲いかかりました。その時、プロジェクトに関わった人々は、ただ自分たちの可能性を信じて努力を続け、遂には地球への帰還を実現させたのです。これが人々の共感を呼び、これを題材に4本もの映画が制作されたほどです。何事においても、目標に向けた緻密な計画、実践、検証、そしてあきらめない心の大切さを教えてくれています。

自分たちの可能性を信じて努力を続け、遂には地球への帰還を実現させたのです。これが人々の共感を呼び、これを題材に4本もの映画が制作されたほどです。何事においても、目標に向けた緻密な計画、実践、検証、そしてあきらめない心の大切さを教えてくれています。



古池や蛙飛び込む水の音 三組担任

春の訪れを詠んだ芭蕉の著名句である。が、この蛙はこの池しか知らない。井の中の蛙と言われる所以である。君たちは中学でそこそこの優秀な成績を挙げて本校に入学してきましたね。でも、泉陽に来てみると、出来ると思っていた教科が意外と点が取れなかつたり、数学や物理の問題をすら解いていく友人がいたり、部活でも信じられない程うまい先輩や同級生がいたり、今まで見たこともないような先生に出会ったり、世界が少し広がったでしょう。「井の中の蛙を少しは脱却しましたか？」「お山の大将」から脱皮しましたか？でも、まだまだ大海は知らんでしょう。いやいや、それはこれから、泉陽を卒業して大学生や社会人になってからです。もう一つ言いたいことは、泉陽に居る間に出来ることです。それは、出来るだけ「本物」に出会い、触れること。去年、大槻能楽堂に茂山家の狂言を観に行きましたね。ここには二つの本物がある。学校の体育館や市民会館ではなく、能楽堂まで足を運びました。茂山家は古





今年は国立劇場で文楽・人形浄瑠璃を鑑賞する予定です。軽音楽部の先輩達はこの世界の日夜

■茂山七五三師
ましたよ。山中教授の話を直接聴いたことがありますか？ プロの技、プロの考え、考え方に触れて見よ。そんな稀有な体験をして見よ。

部活でも自分の目指す進路の分野でも、テレビを通じてでも本の中でも、本物に出会い、触れましよう。そうすると、自分の進路に対する考え、生き方が真剣になり、変わって来るのがわかりますよ。私は松尾芭蕉という本物に出会って魅了され、芭蕉の描く世界を見事に解析する本物の人々に出会い、俳諧の深みと凄みを知ることになるのです。

(Free care, toward to become middle note)

悩みながらゆつくり前へ

四組担任

早いもので高校生活も3分の1が終わろうとしています。去年の今頃はまた中学生だったみなさん。この一年でしっかりと高校生になりましたか？ 新しい生活や、人間関係、学習方法など、緊張することの連続の中、何とか自分なりの過(こ)し方を身につけることのできた一年だったでしょうか？ 人間関係に苦しんだ人、思うように成績が伸びず苦しんだ人、まだ今も苦しんでいる人もいるだろうと思います。

人生は思い通りに行かないことの連続です。もつと言えは思い通りになることの方が少ないのかもしれない。そんな中で、苦しんで悩んで、それでも逃げないで、自分なりの納得のいく道を選んで進んでいく力こそが、皆さんの一生にとって一番大切な力だと思いません。逃げないでしっかりと悩みながらゆつくり進んでください！

二年生は学校の中心として、部活動でも学校行事でも活躍が期待される年です。ともすれば、クラブが忙しいから、行事が忙しいからと勉強をさぼる人が出て来がちです。しかしそれは本末転倒(ほんまつてんとう)で、学習面でも中

みせず、一年生で身に付けた学習習慣、基礎力をさらに伸ばし、本当の実力を蓄える年にしたいものです。

素晴らしい友と切磋琢磨し、二年生も乃期(のき)みんなで頑張りましょう！！

(意訳)天使ミカエルとピエトロ



怪我しない・病氣しない・喧嘩しない

五組担任



担任をしていて楽しい一年でした。春の遠足・体育祭・文化祭・ピリオオバトル・クラスマッチ・マラソン……。行事が多い学校ですが、皆さんの様子を見ていて、とても楽しかったです。係の人を中心に皆が協力してくれたから、笑顔のあふれる行事になったのだと思います。

担任の一人として皆さんに求める内容は、自戒を込めて「怪我しない・病氣しない・喧嘩しない」の三点です。鉄人28号をリモコンでコントロールする主人公

「怪我しない」ためには、周りをよく見て行動することです。赤信号が気がつかないとすぐ交通事故につながってしまいます。「病氣しない」は規則的な生活を送ってほしいということ



鉄人28号

プレッシャーの多い現代です。悩みすぎないことも大切です。「喧嘩しない」ためには、感情的な言動を控えることでしょうか。人を傷つけたいと思っている人は

ないでしょう。それなのに感情的な言葉を発して人を傷つけてしまうことがあります。怒りの感情にとらわれた時、まず深呼吸してみましよう。自分をコントロールできたら素晴らしいでしょうね。

1年6組学級日誌

〈一日を振り返って〉より 六組担任



- 皆さんに書いてもらった学級日誌から、一部抜粋しました。
- 4月27日(金) 曇 今日本棚がこわれた……。とて もショックです。
- 5月14日(月) 晴 暑くなってきたので、体調に気を付けましよう。私は鼻血が出ました。
- 6月5日(火) 晴 40人41脚練習できひんかったやん。早弁した意味。
- 7月13日(金) ？ 席替えをした。みんなテストが全部返ってきて一喜一憂していた。
- 8月29日(木) 晴 6組他のクラスに比べてクーラーの効きがあまりらしい……
- 9月10日(月) 雨 時間割変更で、体育のバスケットがなくなってショックでした。
- 10月16日(火) 曇 「欠点おらんかったからよかった。」からの「あ、おったわ。」はあかん。
- 11月6日(火) 曇 今日でみんなの文理選択が決まった。来年がとても楽しみだ。
- 12月10日(月) 曇 生物のセンター過去問が1問しかミスしなかったのが嬉しかったです。
- 1月15日(火) 曇 百人一首大会で6組は圧倒的な差で負けてしまいました……
- 2月19日(火) 雨 そんなに勉強してないが、数A大丈夫なのは、という、希望的観測。

◎1年間日誌の記入、ご苦労様でした。



(心)あなたがあたタクミン)

リフレミネングをしてみよう！

七組担任

『リフレミネング』という言葉を知っていますか？ このタイトルは、大学生の時、教育臨床実習といつて、地域の中学校で特別活動の実践を行った時の授業のテーマです。簡単にいうと、「考え方を考えてプラスに捉えよう！ 短所を長所に変えよう！」ということなんです。例えば、テストで時計を見ると、終了まであと5分だった時「あと5分しかないを、また5分もあると見方を変えることです。これは様々なことに応用できます。

高校生は多感な時期です。何事にも悲観的になってしまったり、将来のことが不安になったり、情緒不安定になることも多々あると思います。僕もそうでした。そんな時、少し考え方を考えてみましょう。例えば、「失敗ばかりしてしまったを何事にもチャレンジできた！」や、「すぐに人に流されてしまうを」「人の意見を受け止めることができた！」など、考え方次第で、無数に表現できます。

もしかしらたら、みんなは僕のことを見て「また生徒と泳いで練習してるし、昼休みもたまに遊んでるし、いつも元気やなあ」と思っているのかもしれない。いまだ体の日を元気に過ごしている理由は、普段から頭の中で『リフレミネング』を行っているからです。正直、初めての担任は分からないことだらけで要領も悪く、頭がパンクになりそうなのもありました。そんな時は、「これ頑張ったら、先生レベル1つ上がるわ！」とか考えていました。



他にも、教員を目指した理由の一つに、中学時代いじめを受けたことがあります。当時辛かったですが、その経験があったからこそ、いま教員として働くことができ、見守り知らずの人の会話でも、自分の悪口を言っているように聞こえたトラウマを経験したからこそ、トラウマを抱えている人の気持ち分かるようになりました。

高校では、部活で揉め事があり、先輩が全員辞め、一

年生から部長と会計を経験しました。一人っきりのプールで練習をすることもありました。寂しくてきつかったです。でも、その経験があったからこそ、いま水泳部の顧問として、自分が高校時代憧れていた、チームとして戦う部活を目指すこともできるようになりました。



人生どんなことでもプラスに捉えましょう。マイナスの経験も、『マイナスの経験ができた』というプラスの経験です！「さあいよいよ2年生です。頭ごなしに頑張れとは言いません。一緒に頑張りましょう！楽しみましょう！」

（長距離スイマーの孤独）

春

九組担任

もうすぐ春です。桜はまだ咲いていませんが、蕾が膨らんでいます。小さな雑草も花を咲かせ始めています。空気も土っぽい。春のおいになってきました。なんだか心弾む季節です。さあ、みんなが入学して、あつという間に一年が経とうとしています。最近みんなの表情を見ていると、自分を見失っているような、悩みを抱えているような人が増えてきたように思います。勉強の壁・人間関係の壁……、いろんな壁が立ちふさがっているのです。心配だなあと、思う一方で、ちゃんと壁にぶつかってよかったです、とも思います。だって、これから先は次から次へと新たな壁が登場してくるからです。

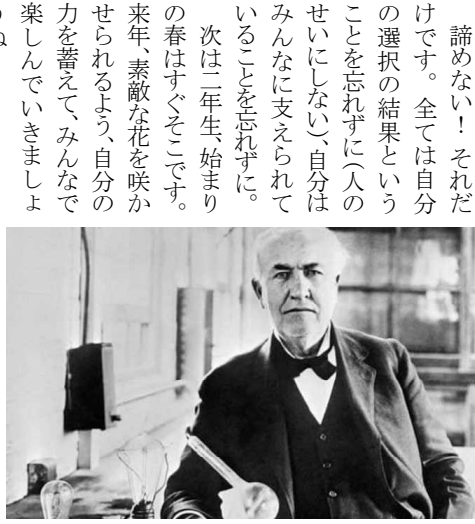
壁は、自分が乗り越えたいと思っていれば、必ず乗り越えられます。いろんな方法を試してみてください。例えば、本当に壁を乗り越えるなら、

- ・ 脚力を鍛えてジャンプする
- ・ 腕力を鍛えてよじ登る
- ・ 道具を使う
- ・ 人に手伝ってもらう
- ・ いっそ壁を壊す乗り越えてないけり



ど

・ 遠回りでも壁の向こう側へいける道を探す（これも乗り越えてないけど）
……ほら、たぐさんの方法がありますよね？
有名な発明家のエジソンも
「私たちの最大の弱点は諦めること。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることにだ」と言っていたそうです。
諦めない！ それだけです。全てでは自分の選択の結果ということも忘れずに（人のせいにならない）、自分自身は支えられてることを忘れずに。
次は2年生、始まりの春はすぐそこです。来年、素敵な花を咲かせられるよう、自分の力を蓄えて、みんな楽しんでいきましょうね！！



（♪珈琲にフライド♪）

生徒指導部より

今年一年を振り返って

スマホ指導と遅刻指導に忙しい一年でした。

遅刻：遅刻が3回以上の人、後期は十人程度ありました。

遅刻の多い人には、担任からの注意に加えて、生徒指導部からも注意を行っています。朝に体調がすぐれず、回復を待って登校したという、やむを得ない人もありますが、規則正しい生活ができずに寝過ごしを繰り返した人もありました。余裕を持って、8時15分に教室に到着しておくことが大切です。朝の有意義な時間は、充実した一日を



××

作ります。

スマホ①：授業中にスマホが鳴った等の事象は、20回ほどありました。再三注意しているのに、なぜこのようなことが起こるのでしょうか？



鳴らしてしまった人に尋ねると「電源を切ってたなくてもいつも大丈夫だったから」「昼休みに連絡がないか、スマホを見て、そのまま電源を切り忘れた」という答えが多くありました。授業中にスマホが鳴ると、授業は中断します。40人の集中が途切れます。皆が授業を大切に思うなら、しっかりと電源を切ってもらいたいものです。スマホ指導一回目は、放課後に反省文を書いてもらっています。同じ人が重ねてスマホ指導を受ける場合、

注意の内容も重くなり、ますし、預かったスマホは保護者への返還となります。

ゲームが脳を低下させる



スマホ②：家に帰ってから、スマホを眺めている時間が多くなっています。せんか？ 動画・インスタ・ライン・フェイスブック・オンラインゲーム……、魅力あるコンテンツに心を奪われ、友人とのやりとりを心が砕き、ついついスマホに向かう時間が増えてしまっていますか？
高校生の1/3以上がスマホ依存症になっているというデータもあります。あなたの健康や将来の可能性をスマホのせいで失っていないのでしょうか？
21時以降の使用をやめるなど、節度を強く求めます。

スマホのしすぎは肩凝りのもとでもある

スマホ③：メールや掲示板などSNS上の悪ふざけやトラブルが問題になっています。SNSやメールは慎重に取り扱ってください。SNS上でも「他人を傷つけない



い」という視点を常に持って行動して下さい。SNS上に「身内だけの閲覧だから」とか「一時的なものだから」ということは通用しません。他人を非難する言葉や個人情報に関わるもの、人物画像などについては、アップしないで下さい。

人間関係…いじめ事件の民事訴訟の判決が出ました。加害者の少年側に賠償を求めた裁判でした。加害少年の「いじっていただけ」「遊び」という意識だったという弁明に、やりきれない思いを抱きました。相手を自殺に追い込むほどの暴力・いじめを繰り返しておきながら、加害者側の意識はなんとも言えないほど低かったのです。

人間が二人以上になると、仲良くなったりぶつかりたりすることを繰り返すのは当然のことです。でも、「親しき仲にも礼儀あり」です。相手を大切にすることが「人を大切にしてください。それぞれの人が価値観や性格が違ってても、友人同士はもちろん、先輩と後輩でも、親と子でも、どのような状況でも「人はみな対等なのだ」ということを意識してもらいたいです。

（笑笑〜II）



進路指導部より

共通テスト 成功と失敗の岐路は？

「存知の通り、皆さんの学年から「センター試験」から「共通テスト」に変わります。

- ① 問題の素材が変わる？
↓日常生活や社会との関わりを意識した場面の問題が出題されます

② 問い方が変わる?

↓以前までは、「知っているか、知らないか」や、「答えを出させればOK」の問いでしたが、「比較・類推・評価」をする問い、「解答までの過程を振り返って発展的に考える問い」「他の者の意見を読み取る、自分の意見を表現する」問い などなど

☆以前よりも「読み解く力」が問われる問題が増える可能性が有ります!!

ではどのように新テストに向けて対策を練ればいでしょうか。次の二通りの勉強方法を読んでみてください。

『A』

- ・高校入試に向けた学習と同じだと思っている
- ・「正解を当てる」ことから離れられない
- ・おなじ出題形式でないと解けない
- ・覚える「学習」

・授業では分かったつもりになっているが問題演習になるとできない

・宿題や試験前の対策だけ熱心

・分からない所を理解する所までは意欲がわかない

・努力の仕方をきき違えている

・今週のことを見えているが、一ヶ月先まで見据えて学習計画を組み立てられない

・復習をしても「できた、できなかつた」で止まる

・解き直しをしない

・習ったこと同士の関連をつかもつとする

・何が分かっていないか、確かめながら勉強する

・答えよりも、考え方が合っていたかを大切にしている

・間違えた問題は、あとからでも解き直しをする

・「できるまで」ではなく「わかるまで」取り組む



『B』

・習ったこと同士の関連をつかもつとする

・何が分かっていないか、確かめながら勉強する

・答えよりも、考え方が合っていたかを大切にしている

・間違えた問題は、あとからでも解き直しをする

・「できるまで」ではなく「わかるまで」取り組む

さあ、どちらの勉強方法が学習の質がよいでしょうか? もろ分かりますよね。もちろん『B』です。

入試が変わるからといって、不安に思うことはありません。

ません。条件はみなさんだけではなく、日本全国の生徒たちも同じです。だからこそ「本質的な学び」を今のうちから意識すること、一気に全国のライバル達と差をつけることができ



ます。また春休みは残っています。宿題は一回しただけでは身につけません。間違った所はやり直して「わかるまで」取り組んでいますか? 一年が終わるこのタイミングで、今一度自分の「学習の質」を見直してみましよう!

生徒会部より

泉陽高校の中心へ

初めての高校での学校行事『体育祭』『文化祭』『クラスマッチ』は楽しめましたか?

二年生ではクラスマッチはありませんが、体育祭・文化祭の企画・運営の中心は君たち2年生になります。既に新年度の文化祭実行委員会はスタートしており、委員長、副委員長の2名は、この学年から選出されています。体育祭に関しても、生徒会執行部を中心に着々と準備が進んでいます。もううううと思う人もいます。先生主導で行事を行う学校であれば、もう少し準備は遅くなるかもしれません。

しかしこの一年でわかつたと思えますが、泉陽では行事毎に内容を生徒自身で考え、代議員会議で審議した上で、実施されていきます。自分たちで作成することに、大変な努力がかけられます。しかし、やり遂げた達成感は何ものにも代え難いものがあります。「体育祭」「文化祭」の全体を作り上げるだけでなく、クラスでの活動・部活動・修学旅行での活動等々、やることに一杯あります。誰かがやるだろう?ではなく、やってみようの精神で、泉陽の行事を73期生で更に発展させましよう!

さあ、どちらの勉強方法が学習の質がよいでしょうか? もろ分かりますよね。もちろん『B』です。

インタビュー



「良識派と自由……君たちは自由というものについて、どのよう

に考えていますか? この言葉について、現実に進んでいる身近な例をヒントに考えてみましょう。

安部公房の小説『良識派』に描かれたニワトリと人間の構図は、現在の香港・マカオと中国

政府との関係になぞらえて考えられます。嘗て香港が英国から返還された時、本

国政府は「二つの制度を保障する」と約束しました。言論の自由も思想の自由も、現状のまま保証されると香港の人々

は考えました。今の状況のまま変わることはないと、あのニワトリ達のように。そして、具合が悪くなれば協議すればいいと、疑った人もいたろう。あの一羽の賢いニワトリのように……。

時が移り、統治者が代わり、状況は変化。本

国政府の締め付けは厳しくなり、選挙もまともに行えなくなつていき、民主主義を強く訴える候補者は逮捕

捕投獄、政府批判の本を置く店の主たちは、いつの間にか行方不明に。香港から自由が……。デモや座り込みは排除、本

国流の秩序が香港に浸透徹底され……。台湾がさて、同様の歴史を刻んでいくのかどうか、隣人として注目しておく必要

があります。物見遊山で訪れてはいけません。この秋。

（注目は台湾の攻防）

旅のカルテ。カレドニア

些か私的なことで恐縮なのだが、近頃教

子の一人の音楽会を契機に、暫く無沙汰していた。これは教員としての先輩に邂逅した。残念ながら、先年、脳

梗塞に倒れられて、左半身が不如意になっておられた。東京育ちのダンディボーイで、私とは対照

的な方であったが、なぜか不思議と気が合うという

利休の茶器(須名みさ子)

その先生がまた音楽がお好きで、これもよく一緒にした。その縁で私の教え子も永く応援して下さい。もう20年にも25年にもなるだろうか。有り難い。「奥の細道」を辿る旅も、ベルリン「舞姫を訪ねて」の旅も、漱石を訪ねてロンドンへの旅も、二緒した。その度に助けて頂き、また色々教

えて頂き、そして応援頂いた。現地でも本物に触れる実践の旅の数々を一緒にできた。そのつながりから、多くの方とも知り合うことが出来、教え子ともつながった。

▽旅は人と人の交わりでもある。遭遇の連続でもある。また人生は旅でもある。一人では決して生きていけない。君たちも、人生という旅を、より多くの縁、多くの人と交わりを大切に、豊かな旅を、豊かな人生を歩んで行ってほしい。

この弥生九日十日は、私の人生の上でも掛け替えのない里程を刻む日となった。詳細には記さないが、様々なことをしみじみと嘆じ、考えた。百であった。(お茶色)

▲本阿弥光悦作の茶器

とりの花 とりの花のうた

兵庫東加西では、チューリップ祭が始まった。来月初旬までが見頃で、二重から八重咲きまで五百種以上が揃う。17世紀オランダでは投機の対象となり、病氣と突然変異が判別できず高値で取引され小説にもなった。原種は小さく可憐!

チューリップの花には、侏儒が棲むと思ふ。松本たかし

なるほどと思ひ、涙を突かれたとも思わせる佳句。侏儒は小人の意、次も同様。パンジーの特徴を端的に捉えている。

三色堇 勤勉をた、誇とし 藤田湘子

花期長く、複数の花を次々と咲かせる。それを勤勉と詠んだ所が秀逸。次も写実の効いた句。木蓮の花びらは分厚い。

木蓮の花びら風に折れてあり 松本たかし

中庭の白木蓮(白蓮)がもうすぐ満開になって、壮観!!

編集後記「一年が終わり、皆それぞれ感慨を胸に進級」担任の皆も思うことを伝えたいことを綴った。驚き、原稿並べると、いつものB4裏表にはとてもとても、そこで今号、倍の紙数に決

て絵で膨らましたのではない(ハハ)我田引水なれど、担任九人の稿の質も上げ「愛は深き」去年(こそ今年書く棒の如きもの高

浜虚子)、年度替わりに同様の心境変わらぬものは変わらず指導を改むべき(改め)変わらぬ愛を熱き情熱で、君たちの成長と希望の実現を「保護者の皆様も手連をつかりと見守られつつ、私共担任団と手を携えられて、次の一年を、と念じます。穠しはり

